

第16回「さくらちゃんカップ」開催趣意書

日本白血病研究基金チャリティーゴルフ

血液のがんと呼ばれる白血病は小児がんの約5割を占める病気です。1980年代までは「不治の病」とも言われていた白血病も、現在では5才以下の小児白血病のうち85%は治癒できるまでになりました。一方、近年では成人及び高齢者の白血病が増加傾向にあり、この病気の根本的な克服のためには更なる基礎研究、臨床研究が必要とされています。

認定特定公益信託「日本白血病研究基金」は、白血病の撲滅を目指してその研究に携わる研究者に対して研究助成を行い、白血病に苦しむ人々に健康で幸福な人生をもたらすことを目的に設立された厚生労働省（当時厚生省）認定（1992年）の特定公益信託です。2016年までの25年間に延べ354名の研究助成を行い、助成金の拠出総額は2億5千770万円を超えました。

特定非営利活動法人「白血病研究基金を育てる会」は発起人と力を合わせ、日本白血病研究基金への募金と広報の目的で、今年も第16回チャリティーゴルフコンペ「さくらちゃんカップ」を開催致します。皆様からのご参加を心からお待ち申し上げます。

【さくらちゃんカップ目標】

- ① コンペを通じて認定特定公益信託 日本白血病研究基金の広報・募金に貢献
- ② 基金を支援して下さるゴルフプレーヤーの方々の親睦

「さくらちゃんカップ」は、小児がんと闘病していた黒澤さくらちゃんの名前にちなんだ名称です。さくらちゃんが5才の時、最後に書き残した下記チューリップの絵は日本白血病研究基金がセゾンカード様と提携した日本白血病研究基金クレジットカードのモチーフにも使わせて頂いております。何卒、本チャリティーゴルフの趣旨をご理解頂き、ご参加、ご協賛賜りたくお願い申し上げます。



発起人代表：(以下敬称略)	日本白血病研究基金運営委員長	水谷修紀	
発起人：(アイウエオ順)	東海大学医学部名誉教授	猪子英俊	
敬和綜合法律事務所	外山興三	東京女子医科大学名誉教授	溝口秀昭
三洋食品元社長	三輪温朗	協和発酵キリン元副社長	山角 健
主 催：	特定非営利活動法人 白血病研究基金を育てる会会長	飯田真作	
	第16回さくらちゃんカップ実行委員長	山本大心	